

対象	中学校 3 学年以上
教科	社会 (公民) 科
該当 単元	中学 3 年 「現代社会の特色と 私たち」 ・持続可能な社会に 向けて 「地球環境問題」
教科書	東京書籍等
掲載日	2017. 9. 17. 朝刊 12 版市民総合版

# 「環境デー」にぎわう

## 久屋大通公園 フェアトレード紹介も

問1：「環境デーなごや2017」は  
どんな目的で行われたの  
でしょう。

【   】  
ため

問2：サブ見出しにある「フェア  
トレード」とは、どんなこ  
とでしょう。記事を読んで  
答えましょう。


問3：「環境デーなごや2017」の  
今年のテーマ「身近なエコ  
が未来へ続く」について、  
具体例を交えながらあなたの考えを書きましょう。


発展：地球環境問題の現状について、仲間と話し合ってみましょう。

自分： <span style="border: 2px solid red; padding: 2px;"> </span>
---

仲間： <span style="border: 2px solid green; padding: 2px;"> </span>
---



フェアトレードのビーズでアクセサリーなどを作る参加者ら＝栄の名古屋テレビ塔で

持続可能な社会を指すイベント「環境デーなごや2017」が十六日、栄の久屋大通公園で開かれた。市や民間団体などが実行委を組織して開き

十八回目。今年は「身近なエコが未来へ続く」をテーマに、個人が気軽に実践できるよう学び合う場とし、百五十団体がブースを並べた。途上国の生産品を適正価格で取引するフェアトレードを紹介するコーナーもあった。市立工芸高の生徒会は、インドからフェアトレードで仕入れたビーズでアクセサリーなどを手作りするブースを出展。子どもたちがピンクやブルーのネックレスなどを作って楽しんでいた。同校二年の門浦奈央さん（も）は「少しでも外国の人の力になれたらうれしい。子どもたちにもフェアトレードについて知ってもらえればと話した。名古屋リサイクル推進協議会は、サイを模したPRキャラクター「リサイくん」の塗り絵を通じ、古紙の再生利用などを伝えていた。（竹谷直子）